

EA514EB

(クーリングシステムプレッシャーテスター)

アダプターの必要がなく、ほとんどの普通車、軽自動車、オートバイに取り付けられます。



(クラップ拡大)



(ポンプ拡大)



特長

複数のアダプターの必要がなく、ほとんどの普通自動車及び軽自動車に取り付けができます。

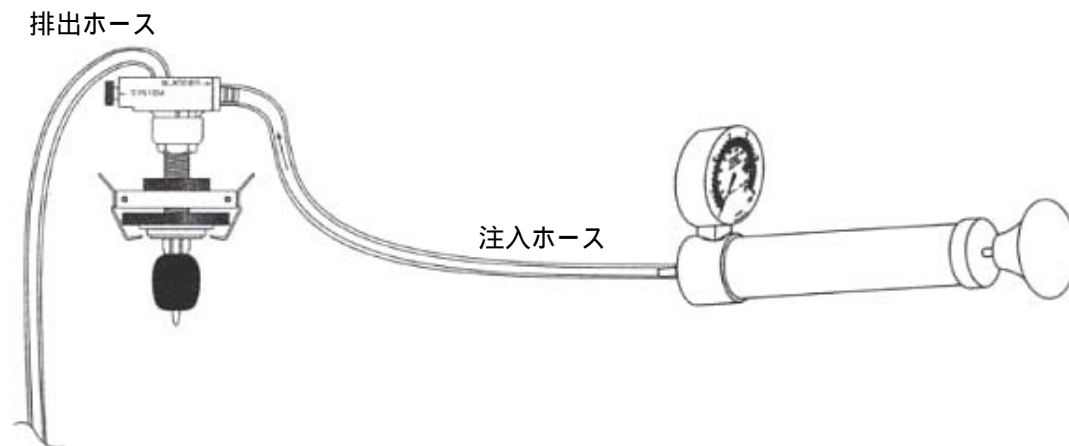
モーターサイクル及びボートにも取り付けができます。

液体排出ホースにより、クーラントはラジエータタンクに戻されるか、あるいは再利用の為に容器に安全に集められます。

組み立て

1500mmホースをアナライザー上の排出ポート(短い方のポート)に根元までしっかりと接続して下さい。

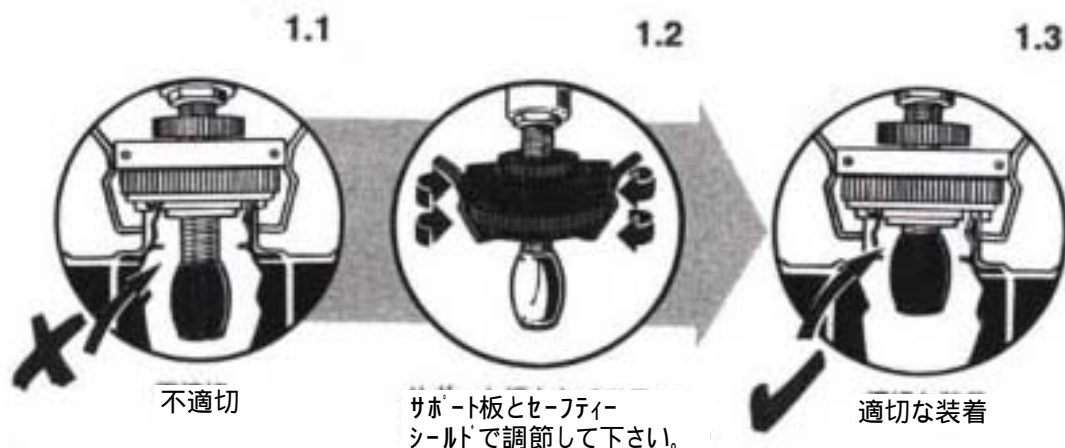
ご使用になられる前に3～4回、bladder(空気袋)を1.76 kgf/cm²(2.5 psi)まで膨らまして下さい。



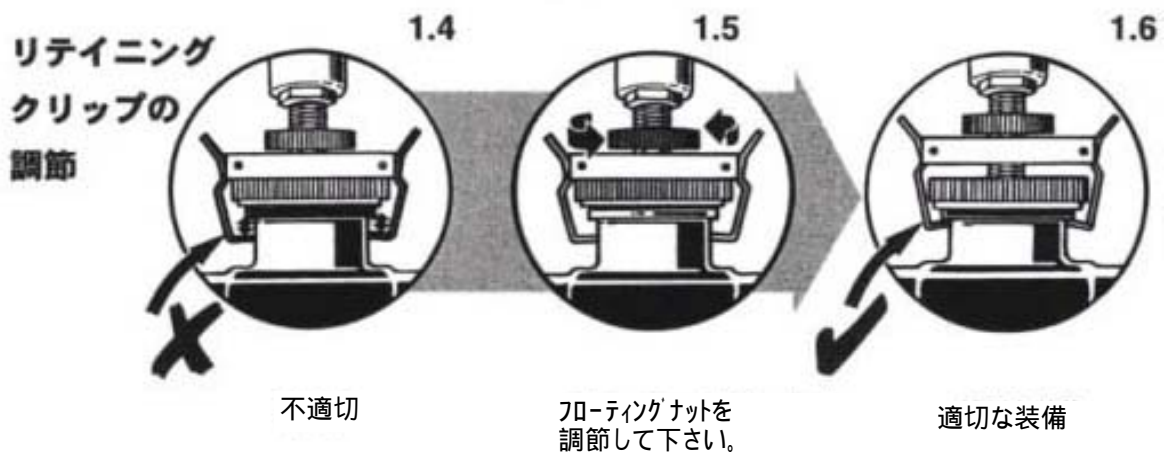
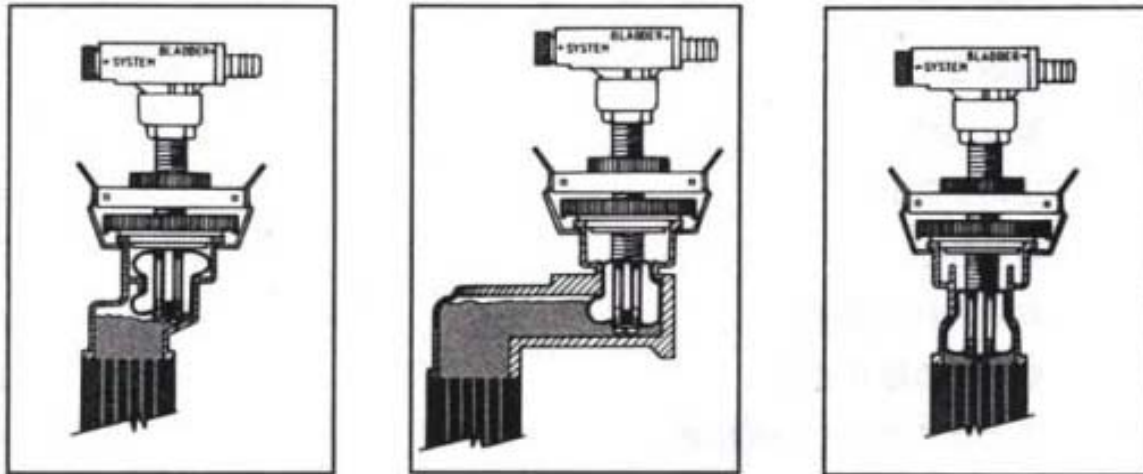
1. ラジエータへの取り付け

テストを開始するに当たって

1. ラジエータのプレッシャーキャップを取り外し、状態をチェックして下さい。
ヒーターコントロールを”HOT”の位置に合わせて下さい。
2. フィラネックに、空気袋に損傷を与える恐れのある、鋭い突起があるかどうかを調べ、必要であれば突起を取り除いて下さい。
3. クーラントのレベルをチェックし、必要であればクーラントを一杯に注ぎ足して下さい。
4. 安全な装着と完全な密閉の確保のために、空気を入れる前に空気袋の3分の2(図1.3参照)がラジエータあるいはヘッダータンクネックの下部フランジの下になるようアナライザーを調整する必要があります。
5. この設定を確実に正確に行うために、以下のステップに従って下さい。

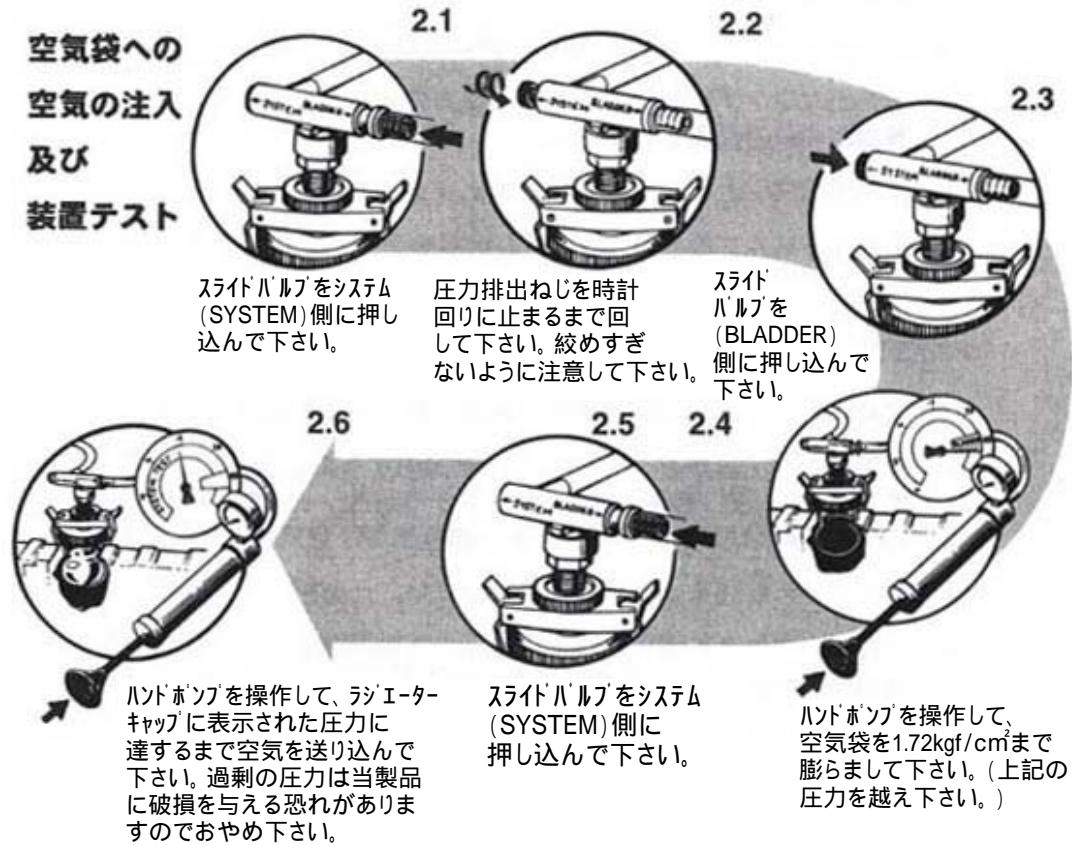


注意:ラジエーターの形状により適切な位置(空気袋の3分の2がフランジの下になるよう)に調節出来ないこともあります。このような場合、柔軟な対応性のある空気袋が必要な密閉を確保します。下記の例をご覧ください。



2. 圧力テスト

・テストを開始するにあたり、排出ホースをラジエータータンクの中に、あるいは適切な容器に配置してください。



- ・もし、装置の圧力が保たれている場合は、重大な漏れは生じていません。
- ・圧力の低下は装置の重大な漏れを意味しています。

注意: エンジンが暖かいうちにテストを行うと、エンジン温度の低下に伴い圧力が低下する場合があります。この場合、漏洩を意味していません。完全にエンジン温が低下してから再度圧力テストにて確認してください。

- ・圧力の継続的低下
-外部漏れを調査してください。

3. 冷却装置からの取り外し

システム
圧力の
解放
及び
空気袋の
空気抜き



3.1

圧力排出ネジを反時計
回りに回して下さい。



3.2

ゲージの目盛が0になるまで
圧力を排出して下さい。

ゲージの
目盛が0
になるま
で次の作
業は行わ
ないで下
さい。



3.5

リテンションクリップを緩めて
アナライザ-を取り外して
下さい。



3.4

空気袋の空気を完全に抜いて
下さい。



3.3

スライドバルブを空気袋(BLADDER)
側に押し込んで下さい。

お手入れと整備

このアナライザーはテスト器具ですので、丁寧に取り扱い下さい。使用後は必ずユニットを水ですすぎ内部のコンポーネントが固着しないように清潔に保って下さい。

注意: 強い化学薬品や溶剤は使用しないで下さい。

ゴムの空気袋とセーフティーシールは通常の使用により摩耗します。劣化が認められた場合、ゴムの空気袋あるいはセーフティーシールを取り替えて下さい。

空気袋の取り替え

1. センターチューブ取り付けネジ(A)をセンターチューブ本体(5)から取り外して下さい。
2. センターチューブフランジ(6)を取り外して下さい。
3. 空気袋(13)を軸(4)から取り外して下さい。
4. 新しい空気袋を回しながら軸に取り付けて下さい。(潤滑油が必要な場合は水を使用して下さい。-グリ-スやその他の潤滑剤は使用しないでください。)
5. センターチューブフランジを取り付けて下さい。
6. センターチューブ取り付けネジをOリングと一緒にしっかりと取り付けて下さい。
7. 空気袋に1.72kgf/cm²圧力まで空気を入れ、3~4回膨らまして下さい。
8. 空気袋に空気を入れ、水に浸けて空気漏れのテストをして下さい。

アナライザーの故障検査

BLADDER(空気袋)側で圧力低下

1. 空気袋のスリーブ、センターチューブフランジ及び軸への取り付けをチェックして下さい。
2. センターチューブ取り付けネジの締め具合をチェックして下さい。
3. 手動圧力ポンプに装着されている圧力の漏洩をチェックして下さい。(純正交換部品のみを使用して下さい。)
4. 圧力排出ネジとシートの状態をチェックして下さい。
5. スライドバルブのOリングの状態をチェックして下さい。

SYSTEM(装置)側での圧力低下

1. 始めに圧力低下が冷却装置内の漏洩でないことを確認して下さい。
2. 空気袋のサイズがタンクのネックを密閉するのに適切であることをチェックして下さい。もし必要であれば、アナライザーを車から取り外し、3~4回1.72kgf/cm²(172KPa、25PSI)まで膨らまし、空気袋を伸ばして下さい。
3. 指示通りに装置を正しく調節して下さい。-4ページを参照
4. 手動圧力ポンプに装着されている圧力弁の漏洩をチェックして下さい。(純正交換部品のみを使用して下さい。)
5. 圧力排出ネジとシートの状態をチェックして下さい。
6. スライドバルブのOリングの状態をチェックして下さい。